

2017 年度 2 次試験 事例Ⅲ 解答

第 1 問 (配点 30 点)

課	題	は	、	専	門	性	・	独	立	性	が	高	く	生	産	形	態	が	違
う	生	産	現	場	に	つ	い	て	協	働	が	出	来	る	体	制	の	整	備
及	び	外	部	企	業	と	の	緻	密	な	連	携	で	あ	る	。	対	応	策
は	①	生	産	計	画	の	策	定	を	行	う	人	員	を	配	置	し	統	制
を	徹	底	す	る	②	組	立	作	業	の	協	働	に	つ	い	て	十	分	な
教	育	訓	練	を	行	な	う	③	外	部	企	業	と	納	期	・	品	質	等
の	情	報	を	共	有	し	適	切	な	管	理	を	行	う	事	が	あ	る	。

第 2 問 (配点 20 点)

課	題	は	、	受	注	作	業	効	率	化	と	生	産	技	術	の	共	有	に
よ	る	多	能	工	化	で	あ	る	。	対	応	策	は	、	①	E	D	I	化
を	行	な	い	受	注	作	業	と	繰	返	し	発	注	さ	れ	る	部	品	に
つ	い	て	の	打	合	せ	等	の	簡	略	化	②	専	任	担	当	制	を	改
善	し	操	作	方	法	や	加	工	方	法	に	つ	い	て	の	技	術	情	報
を	標	準	化	・	マ	ニ	ュ	ア	ル	化	し	訓	練	す	る	事	が	あ	る

第3問 (配点 20 点)

①	C	N	C	加	工	機	の	実	演	動	画	を	提	供	し	そ	の	汎	用
性	や	加	工	精	度	・	操	作	の	容	易	性	等	に	つ	い	て	潜	在
顧	客	に	訴	求	す	る	②	プ	ロ	グ	ラ	ム	の	作	成	法	等	顧	客
が	必	要	な	情	報	に	つ	い	て	予	め	情	報	提	供	と	質	問	・
要	望	受	付	を	行	い	顧	客	ニ	ー	ズ	を	収	集	す	る	。	対	応
策	は	、	H	P	を	担	当	す	る	人	員	を	設	け	①	顧	客	の	ニ
一	ズ	に	対	し	て	の	素	早	い	内	容	変	更	や	②	具	体	的	相
談	等	に	対	し	迅	速	に	対	応	し	受	注	に	つ	な	げ	る	。	

第4問 (配点 30 点)

方	策	は	、	製	品	に	つ	い	て	、	受	注	減	少	と	値	引	要	請
の	強	い	事	業	の	比	重	を	減	ら	し	資	源	を	新	事	業	に	投
入	し	併	せ	て	改	良	・	開	発	を	行	う	。	更	に	可	能	な	部
分	に	つ	い	て	は	外	注	を	検	討	す	る	。	サ	ー	ビ	ス	に	つ
い	て	、	合	理	化	等	で	生	ま	れ	る	人	員	に	必	要	な	教	育
を	行	い	ユ	ー	ザ	ー	向	け	の	ト	レ	ー	ニ	ン	グ	や	ア	フ	タ
一	サ	ー	ビ	ス	等	を	実	行	で	き	る	体	制	を	整	備	す	る	。